

# IRON COBRA REMOTE HI-HAT STAND

## 取扱い説明書

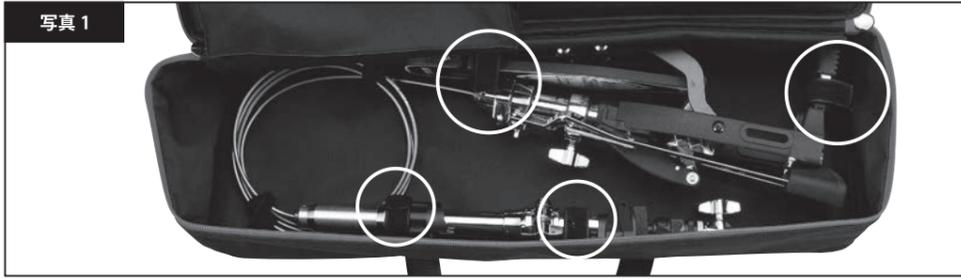
ご使用になる前に、必ず本説明書をお読みください。

この度は、TAMA アイアンコブラ・リモートハイハットをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。製品の性能を十分に発揮し、安全にご使用頂くために、組み立て前に必ず本説明書をお読みください。また、本説明書は大切に保管してください。

### 内容物の確認

1. リモートハイハット本体 --- 1
2. キャリングバッグ --- 1
3. マルチクランプ (MC66) --- 1
4. ラチェットアーム --- 1
5. ケーブルクリップ --- 6
6. ドラムキー --- 1

### 写真 1



### 組み立て方法

1. 脚部二箇所、パイプ部二箇所を固定しているマジックテープを外して本体をバッグから取り出します(写真1)。その後ケーブルを巻いているマジックテープも外し、ケーブルを伸ばします。
2. T-ボルト(A)を緩めてスライダーを下げ、脚部を開いて本体のペダル部分を立てます。
3. 本体のパイプ部、高さ調整ジョイントの下方をラチェットアームのクランプ部に取り付けます。マルチクランプ (MC66) をシンバルスタンド等にセットして、本体を取り付けたラチェットアームを差し込んで固定します(図1)。クランプやラチェットアームを操作することで、様々な角度にセットできます。お好みのポジションになるように調整ください。
4. T-ナット(C)を緩め、上段パイプをスライドさせる事でボトムシンバルの高さを微調整出来ます。
5. ケーブルとドラム本体との接触による不要なノイズを防ぐために、付属のケーブルクリップを使って、ケーブルをバスドラムのテンションボルトに固定する事が出来ます(図2)。また、図3のように付属のマジックテープでケーブルをスタンド類に固定する事も出来ます。
6. T-ナット(B)を緩め、ハイハットクラッチをシンバルロッドから外し、ボトム側のハイハットシンバルを(一般的に厚い方の一枚です)をシンバルボトムシートのフェルトの上に載せます。

### 注意

ケーブルを固定する際には、脚部上端やパイプ部下端のケーブルがなるべく真っ直ぐになるようにすると、よりスムーズなアクションが得られます。

### トップシンバルの取り付け(クイックセット・ハイハットクラッチ)

クイックセット・ハイハットクラッチは、ストッパーのボタン操作でトップシンバルの素早い付け外しを可能にします。また、演奏中に緩んでクラッチからシンバルが外れる心配がありません。

1. 図5のようにストッパーの赤いボタンをOFFの矢印の方向に押し、ストッパーとフェルトワッシャーを取り外します。
2. ハイハットのトップシンバルを、樹脂製の調整ナットとフェルトワッシャーの間に通します(図4)。
3. 図6のようにストッパーの下部を押しながら黒いボタンをスライドさせると、トップシンバルがハイハットクラッチに固定されます。
4. トップシンバルを付けたハイハットクラッチをシンバルロッドに通し、好みのシンバルの開き具合の位置でT-ナット(B)を緩めて固定します。
5. 調整ナットでトップシンバルの締め具合を調整できます。好みの位置でロックナットを締めて固定してください。演奏時にはポジションマークがスティックのチップの正面になるようにセットすると、より自然な揺れが得られます(図7)。

### 注意

- ・トップシンバルを調整ナットで強く締めすぎると、ストッパーの取り外しが難しくなる事があります。
- ・保護チューブが摩耗した場合は、チューブ部分のみ(パーツ品番: SLC085)を交換する事が出来ます。シンバルを傷めないように時々状態を確認してください。

### スプリングテンションの調整(図8)

テンション調整ダイヤルを回す事で、6段階にスプリングテンションを調整出来ます。時計回りに回すとスプリングテンションが強くなり、シンバルの戻りが早くなります。

### 注意

上段パイプを短くし過ぎると調整ダイヤルを回らずに、スプリングテンションを調整出来ないことがあります。その際は、一旦T-ナット(C)を緩めて上段パイプを伸ばしてスプリングテンションを調整してください。

### スパイクの長さの調整(図9)

フレームの下端、左右に2本のスパイクがあります。スパイクを出して使う場合は、角頭ボルト(a)をドラムキーで緩めてスパイクを出し、脚ゴムとスパイクの両方が接地して安定する長さで再度締め付けます。

### 注意

スパイクを使用される際は、床面を傷付けないようにマット等を敷いてください。

### フットボード角度の調整(図10)

二本の角頭ボルト(b)をドラムキーで緩め、背面カバーを上下にスライドさせる事でフットボードの角度を調整する事が出来ます。好みの角度で二本のボルトが水平になっている事を確認し、再びを締めて固定してください。

### ボトムシート(スプリングシート)の調整(図11)

スプリングシートは従来のボトムシンバルの角度調整部にスプリングを入れる事で、オープン時はボトムシンバルが傾き、クローズするにつれてシンバルが水平になる事によって、シンバルを閉じる時の二枚のシンバル間の空気をスムーズに抜き、より明確にフットクローズ音を引出す機構です。調整ボルトを左向きに回すと、よりボトムシンバルを傾ける事が出来ます。好みの傾き具合が決まったら、ロックナットを左向きに回してロックしてください。

### 収納、その他

- ・本体の破損やケーブルの曲がりやを防ぐ為に、必ず写真1のようにバッグ内に収納してください。本体をバッグに収納する際には、まず丸めたケーブルを二本のマジックテープで纏め、写真1に丸印で記した4箇所をバッグ内のマジックテープで固定してください。
- ・シンバルロッドを締め直したり交換したりする際には、ハイハットクラッチを外しT-ナット(C)を緩めて上段パイプを外した状態で行ってください。パイプ内にある六角ナットを指で支えながらシンバルロッドを回して調整、交換を行います(図12)。

### 交換用ケーブル

・下記の交換用ケーブルをご用意しています。短いケーブルをご希望の際、もしくはケーブルが曲がって動きが悪くなった際にお求めください。交換方法については、ケーブルに付属の取扱い説明書をご覧ください。

■HH905RH2L(2,300mm): 本製品に付属しているケーブルです。

■HH905RH2S(1,200mm): 交換用の短いケーブルです。

### 各部の名称

